

国指定

所在地：畑市

木造多聞天立像・木造増長天立像・木造持国天立像

もくぞうたもんでんりゅうぞう

もくぞうぞうちようてんりゅうぞう

もくぞうじこくてんりゅうぞう

西光寺の本尊に随時する四天王像のうち、3三が国指定となっている。持国天けきこくは左手に戟ききを執り、増長天けいさうは右手に三鈷杵さんこしよを、多聞天たもんは左手に宝塔、右手に戟ききを持ち、各々邪鬼じあを踏みつけて立つ。いずれも頭軀とうたいの幹部はヒノキの一木から彫成し両手はを矧はぎ寄せている。足下の邪鬼しんの主要部も共彫りとしている。瞋目閉口しんの持国・増長天しん像は目鼻を中央部に寄せて静かな表情をつくるが、多聞天しん像はこれと対照的に憤怒の相を見せている。

平安時代。像高 持国天116cm、増長天115cm、多聞天116cm。



木造多聞天立像



木造増長天立像



木造持国天立像